

男女の生きづらさに関するアンケート集計結果

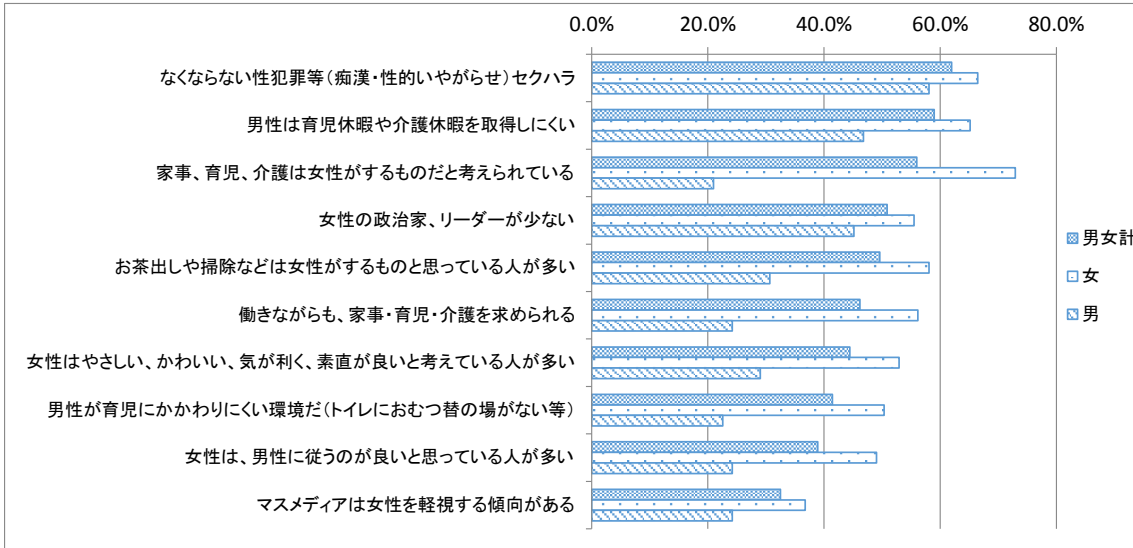
令和2年8月
人権環境部男女共同参画課

令和2年6月の男女共同参画週間に、広報啓発とあわせて、男女の生きづらさについて、インターネットと紙でアンケートを実施。幅広い世代の、234人から回答があった。

あなたが、生きづらさを感じたりもやもやするのは次のうちどれですか？(複数回答)	男女計			女			男		
	人数(人)	割合	順位	人数(人)	割合	順位	人数(人)	割合	順位
なくならない性犯罪等(痴漢・性的いやがらせ)セクハラ	145	62.0%	①	103	66.5%	②	36	58.1%	①
男性は育児休暇や介護休暇を取得しにくい	138	59.0%	②	101	65.2%	③	29	46.8%	②
家事、育児、介護は女性がするものだと考えられている	131	56.0%	③	113	72.9%	①	13	21.0%	
女性の政治家、リーダーが少ない	119	50.9%	④	86	55.5%	⑥	28	45.2%	③
お茶出しや掃除などは女性がするものと思っている人が多い	116	49.6%	⑤	90	58.1%	④	19	30.6%	⑧
働きながらも、家事・育児・介護を求められる	108	46.2%	⑥	87	56.1%	⑤	15	24.2%	
女性はやさしい、かわいい、気が利く、素直が良いと考えている人が多い	104	44.4%	⑦	82	52.9%	⑦	18	29.0%	⑨
男性が育児にかかわりにくい環境だ(トイレにおむつ替の場がない等)	97	41.5%	⑧	78	50.3%	⑧	14	22.6%	
女性は、男性に従うのが良いと思っている人が多い	91	38.9%	⑨	76	49.0%	⑨	15	24.2%	
マスメディアは女性を軽視する傾向がある	76	32.5%	⑩	57	36.8%		15	24.2%	
結婚するのがあたり前という雰囲気がある	75	32.1%		61	39.4%	⑩	13	21.0%	
男性は弱音を吐かず、強くあるべきだと思っている人が多い	74	31.6%		46	29.7%		24	38.7%	④
女性は仕事を任せてもらえない、決定権がないことが多い	64	27.4%		52	33.5%		11	17.7%	
力仕事や危険な仕事は男性に割り当てられることが多い	61	26.1%		34	21.9%		20	32.3%	⑥
働いて収入を得るのが男性の生き方だと考えられている	59	25.2%		38	24.5%		18	29.0%	⑨
男性は定年まで働くべきだと考えられている	57	24.4%		32	20.6%		23	37.1%	⑤
男性は高収入であるべきと考えられている	56	23.9%		35	22.6%		20	32.3%	⑥
男性は女性をリードすべきだと思っている人が多い	48	20.5%		34	21.9%		12	19.4%	
デートの時の支払いは男性がすべきという雰囲気がある	45	19.2%		27	17.4%		16	25.8%	

※多い順に並べ替え

グラフ(上位10項目)



回答者の属性

年齢	女	男	不明	合計	割合
10代	2	2		4	1.7%
20代	11	4		15	6.4%
30代	38	7		45	19.2%
40代	37	7		44	18.8%
50代	19	13	1	33	14.1%
60代	16	12	4	32	13.7%
70代	26	12	10	48	20.5%
80代～	6	5	2	13	5.6%
総計	155	62	17	234	100.0%
割合	66.2%	26.5%	7.3%	100.0%	

インターネットからの回答: 116

紙面での回答: 118

その他(自由記述)【抜粋】	年齢	性別
共働きが当たり前、働く女性は偉い、という空気がもやもや。働きたい人が働けばいい。全ての女性が働きたいわけではない。	20代	女
「女性専用車両」等、逆差別によって男女格差を解消しようとする考え方に疑問を感じる	20代	男
結婚している男性の服装や食事について、「妻の管理がなっていない」と批判する人が多い。大人であれば、自分の身の回りのことや健康管理は自分の責任であるはず。	30代	女
女性は、女性特有の妊娠出産があるため働きにくい。妊娠中つわりがひどく有給休暇を取ったら、その日から上司からのパワハラが始まった。	30代	女
同じ給与なのに、動員等が男性職員にのみ割り当てられることが多い	30代	男
男性の私に周囲から「家事、手伝ってんの？」と聞かれる。妻がやること前提の発言。実際は、やれる方がやってる。まだまだ固定的な性別役割分担意識が強いです。	40代	男
選択的夫婦別性の早期実現を求めます。	50代	女
女性は働いても介護育児、家事全てを求められる。	60代	女
男女平等参画日本は後進国すぎます	60代	男
「男性も負担を」という考え方が少しずつ浸透してきてはいるが・・・	70代	女
まだまだ日本の社会は男性優位だと感じる。男女平等とは名ばかりで、共働きでも女性の負担は大きいと感じてきた。	70代	女

あなたの、生きづらさやもやもやを改善・解消するためには何が必要だと思いますか？(自由記述)【抜粋】	年齢	性別
男だから女だからみたいなステレオタイプの物の見方をやめる事が必要だと思う。	10代	男
人を見るときに性別にとらわれず、その人の人間性に焦点を当てるようにする。	20代	女
家同士の結婚、男が家を継ぐという考えを見直す意識改革	20代	女
生きづらさを感じにくい環境を選んで生活する	20代	男
夫婦別姓	30代	女
夫婦お互いの理解	30代	女
男性が早く帰宅できる働き方改革	30代	女
色々な人がいて色々な生き方があるということが浸透すること。	30代	女
女性が男性と同じやり方で働くのではなく、女性特有の働き方を模索するべき。男性もただ無心にしかりきに働くべきではなく、ライフワークバランスを保つことで、女性の社会進出にも理解を示せるようになるのでは。女性だけを優遇するのではない。男性も女性も働きやすい職場を。子育て労働者に対する保証を厚くする分、非子育て労働者にも同様の配慮を。「女性の管理職が増える＝女性が活躍できている」ということではない。	30代	女
社会全体でジェンダーに関する意識を変えていく行動。大人が子どもに意識付けを強要しない、考えは一通りではないことを教えていく。	30代	女
自分を強く持つ。適当に流す力を持つ。育った環境が違うから、っと割りきる。	30代	女
自分が生きづらいのは諦めているが、子ども達に生きづらさを引き継がないために大人がきちんと性について知るべき	30代	女
会社側の、産休育休に対する理解をもっと得てもらうこと。子育てしながら働く上での会社側の勤務時間の配慮など	30代	女
趣味等、没頭できるもの	30代	男
根拠や合理性に基づいて、社会を徐々に良くしようという気概のある行政機関	30代	男
話を聞いてもらえる場所、人。改善しようとする行動や言動。	40代	女
未だに深く根付いている男尊女卑の考え方を無くして、男女平等な世の中になるように対策を練るべき	40代	女
男性と女性、仕事以外に生きていくための必要な事柄を小さいうちからできるよう教育しておくことが必要。	40代	女
男女ともに、子どもを育てながら仕事を続けられる環境が必要。男性はまだまだ育休が取りづらい。	40代	女
性別、年齢関係なく、1人の人間としてお互い認め合うこと。自立と共生の大切さについてもっと報道を。	40代	女
子供達への教育。今の大人世代への改善、解消はこれ以上期待薄。今後の為に子供にはある程度教えていこうと思います。	40代	女
決定権のあるグループに女性が多く参画すること、女性自身がそのような認識を持つこと	40代	女
管理職をサポートできる体制。勤務時間の短縮。	40代	女
年上世代はどうしても女はこう～男はこう～と考えがちだと思う。少しは柔軟になって今の考えを受け入れてほしい。	40代	男
地道な啓発。今更、高齢者の意識を変えるのは難しいので、若者を中心に！	40代	男
対話的な道徳教育	40代	男
女性が「女性らしくありたい」(色んな意味で)と思う考え方を止める。	50代	女
男性としての役割、女性としての役割があるはず。それを認めた上での男女平等を訴えていくことが大切だと考える。	50代	女
小さい頃から男女平等という当たり前の意識を持たせていく(教育・保育)	50代	女
おかしいと思うことを指摘する勇氣	50代	女
あるべき姿ではなく、多様なあり方が前提の社会になる事	50代	女
大人も子供も、子供の目線への関心と反応	50代	男
自分のことは、自分でしましょう。	50代	男
社会が変わること。(一人ひとりを大切に政治。困っている人からの声に耳を傾け、社会の問題ととらえて、対策を考え行う。)	60代	女
女性がリーダー的立場にある割合が世界的に見て低く、その点では日本は後進国。	60代	女
多様性を受け入れる懐の深い社会	60代	女
【子供が片付く】という言葉。(子供はものではない！)【主人が】と自ら当たり前のようにいう人の多いこと。(あんたは家来か！)という人々に気づいてほしい。	60代	女
意識改革のための施策	60代	男
働く時間の確定と休むことへの罪悪感のない職場	60代	男
経済最優先の行政、一次産業の無関心教育	60代	男
子どものころからの教育。話し合える場が少ない。	70代	女
もっと社会全体が変化しないと！例えば、男性が育休や介護休暇を気兼ねなく取りやすいような社会にする。外国並みのような社会にしないとイケない。	70代	女
自己確立。社会は個人の集合体だ。	70代	男
女性の地位向上、男女共同参画の推進、啓発	70代	男